

1 貧困問題

(1) 市長の考える貧困の定義を伺う。

① 磐田市民はどの程度貧困状態なのか伺う。

② 市の行った調査によれば、磐田市に居住する子供を持つ家庭がどの程度貧困状態なのか伺う。

③ 中学生スタートアップ事業は、当事業に該当する新中学生を扶養する家庭の経済状態にかかわらず、一律に商品券を支給している。貧困問題との関係を伺う。

④ 朝ごはんを学校等で提供する事を研究しているとの事。2018年の静岡県の行った調査結果との関係並びに、貧困問題との関係を伺う。

「みんなで朝ごはん事業」の検討会を、自治会連合会や地域づくり協議会、社会福祉協議会、小学校長、保護者ら計14人で立ち上げると聞くが、なぜこのような構成になったのか、また何を検討するのか伺う。

2 障がい者雇用について

(1) 磐田市役所における、障がい者の雇用計画を以下伺う。

- ① 磐田市役所に雇用されている障がい者の人数を伺う。併せてハーフカウント・ダブルカウントの雇用されている障がい者数を伺う。
- ② 精神障がい者の雇用予定と予定数を伺う。併せて精神障がい者の短時間雇用の雇用をどのように考えているか伺う。
- ③ 障がい者の実雇用率は、平成22年に常用労働者数に短時間労働者の算入や除外率の引き下げがあり、全国平均が下がった。その後改善されているが、磐田市役所において算定の母数である短時間労働者の労働時間の変化等どのような見通しをもっているのかを伺う。

また、磐田市役所における正規職員と非常勤・臨時職員の今後の雇用計画を伺う。